

2019年度

日仏社会学会大会プログラム

10月26日(土)

会 場

追手門学院大学・総持寺キャンパス

(A521教室)

(〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町1番1号)

<参加要領>

1. **大会参加費** 大会運営のため参加費 1,000 円を申し受けます。
非会員の方の参加も歓迎いたします。
2. **懇親会** 懇親会にご出席の方は会費 5,000 円(学生会員は 4,000 円)を大会受付でお納め下さい。

会場：総持寺キャンパス学生食堂

開催時間：17:30－19:30

お問い合わせ 日仏社会学会事務局 nichifutsusocio@gmail.com

<連絡事項>

* 大会および懇親会のご出欠を10月5日(土)までにお知らせください。

(連絡先：日仏社会学会事務局 nichifutsusocio@gmail.com)

*2019年度会費の納入をお願いいたします。

郵便振替 00960 6 278804 口座名 日仏社会学会

〈タイムテーブル〉

09 : 30 受 付

10 : 00 開 会 の 辞 荻野昌弘（日仏社会学会会長・関西学院大学）

10 : 05-10 : 55 自由報告

司会 小川伸彦（奈良女子大学）

1. フランス食料品小売業における bio 商品の増大とその社会的背景について
森脇 丈子（流通科学大学）

2. リシヤールとタルド

池田祥英（早稲田大学）

11 : 00-12 : 30 テーマセッション

「アクターネットワーク理論（ANT）の現代的応用」

11:00-11:05 企画趣旨説明
学)

司会 佐藤典子（千葉経済大

11:05-11:35

なぜ今アクターネットワーク理論なのか？

-社会の変化（とその失敗）を捉える社会学
学)

立石裕二（関西学院大

11:35-12:05

ANTとモナド-ラトゥール以降のタルドの現代的応用について

学)
中倉智徳（千葉商科大

12:05-12 : 30 質疑応答

12 : 30-13 : 30 昼休み

13 : 30-14 : 00 総会

14 : 00-17 : 00

シンポジウム 「フランス社会学と隣接諸科学」

司会：江頭 大蔵（広島大学）

1. デュルケーム社会学とエピステモロジー
——デュルケーム社会学を支える「科学性」の問題

太田 健児（尚絅学院大学）

2. 社会学の固有性について——経済社会学・MAUSS の歩みとそこからの展開

古市 太郎（文京学院大学）

3. デュルケーム学派と心理学——デュルケームとアルヴァックスを中心に

金 瑛（関西大学）

コメンテーター：

山下雅之（近畿大学）・宇城輝人（関西大学）

17 : 00 閉会の辞

三上剛史（追手門学院大学）

17 : 30-19 : 30 懇親会（総持寺キャンパス学生食堂）

アクセス

JR 京都線総持寺駅から徒歩 15 分、阪急京都線総持寺駅から徒歩 20 分



懇親会会場へのアクセス

キャンパス内の食堂が会場です。現地でご案内いたします。

昼食について

キャンパス内食堂が営業しています（11:00～14:00）。JR 総持寺駅から会場までの途中セブンイレブンが、また阪急総持寺駅からはファミリーマートもあります。